

原田昇先生所長講演に続く 公開対談資料

2021年11月26日

名古屋大学 未来社会創造機構
モビリティ社会研究所 教授

森川高行

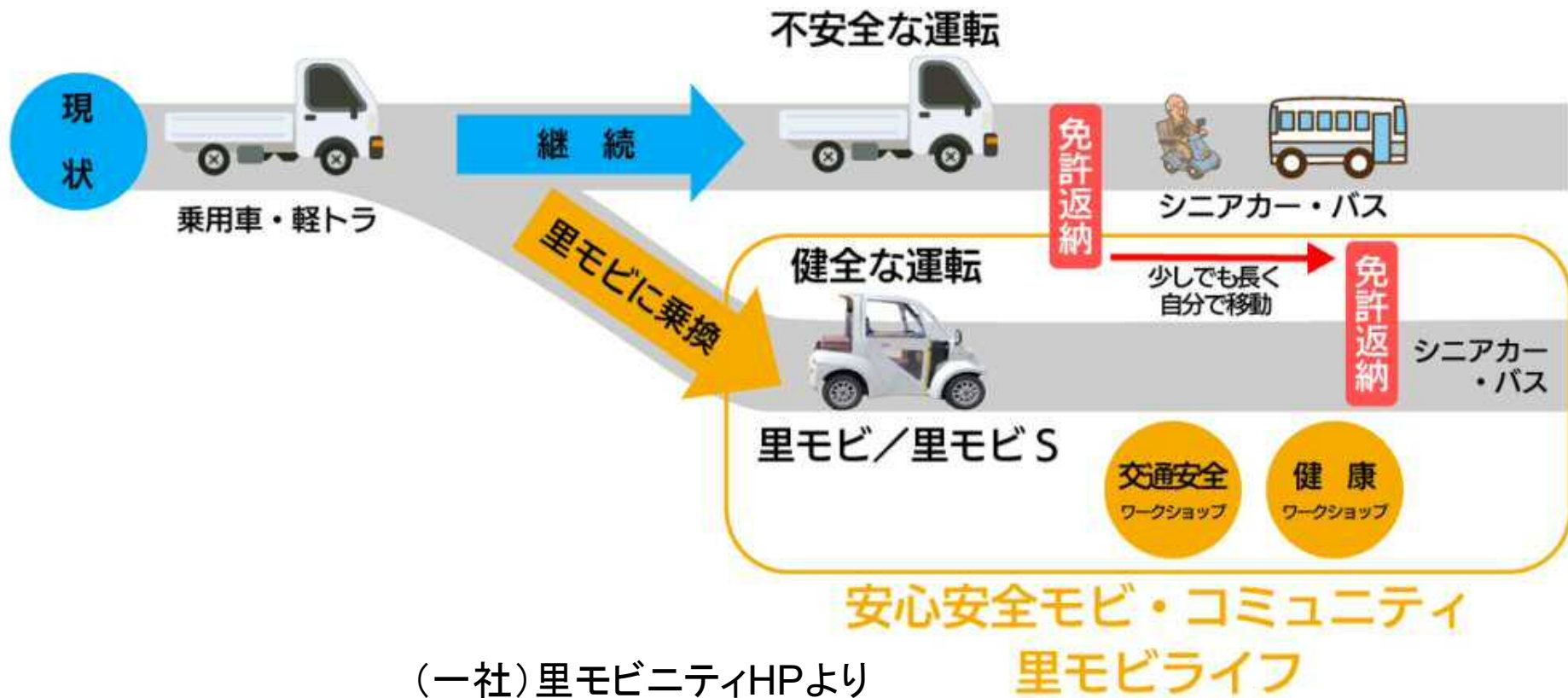
問題提起1)及び3) 道路の安全確保

- 地区道路の速度制限の徹底
- 交通事故死亡者ゼロに向けての総力戦

- 住宅地に通過交通が入らない交通規制
- 歩車分離、自転車通行帯設置など道路整備にもまだまだやるべきことが
- サポカーや後付け誤踏み防止装置などの普及促進
- 交通不便地域での高齢者移動手段提供

中山間地域における小型電動車リース

- 中山間地域などの交通不便地域で、高齢者の安全な自立移動を提供



(一社) 里モビニティHPより

里モビライフ

中山間地域における小型電動車リース

- 2016～18年 「たすけあいPJ」(名古屋大学、足助病院、豊田市) <トヨタモビリティ基金>で開始
- 2019～20年 里モビLIFEプロジェクト推進協議会(豊田市、名古屋大学)
- 2021年 (一社)里モビニティを設立
- 2021年 Ha:moで使用していたコムスを譲り受け

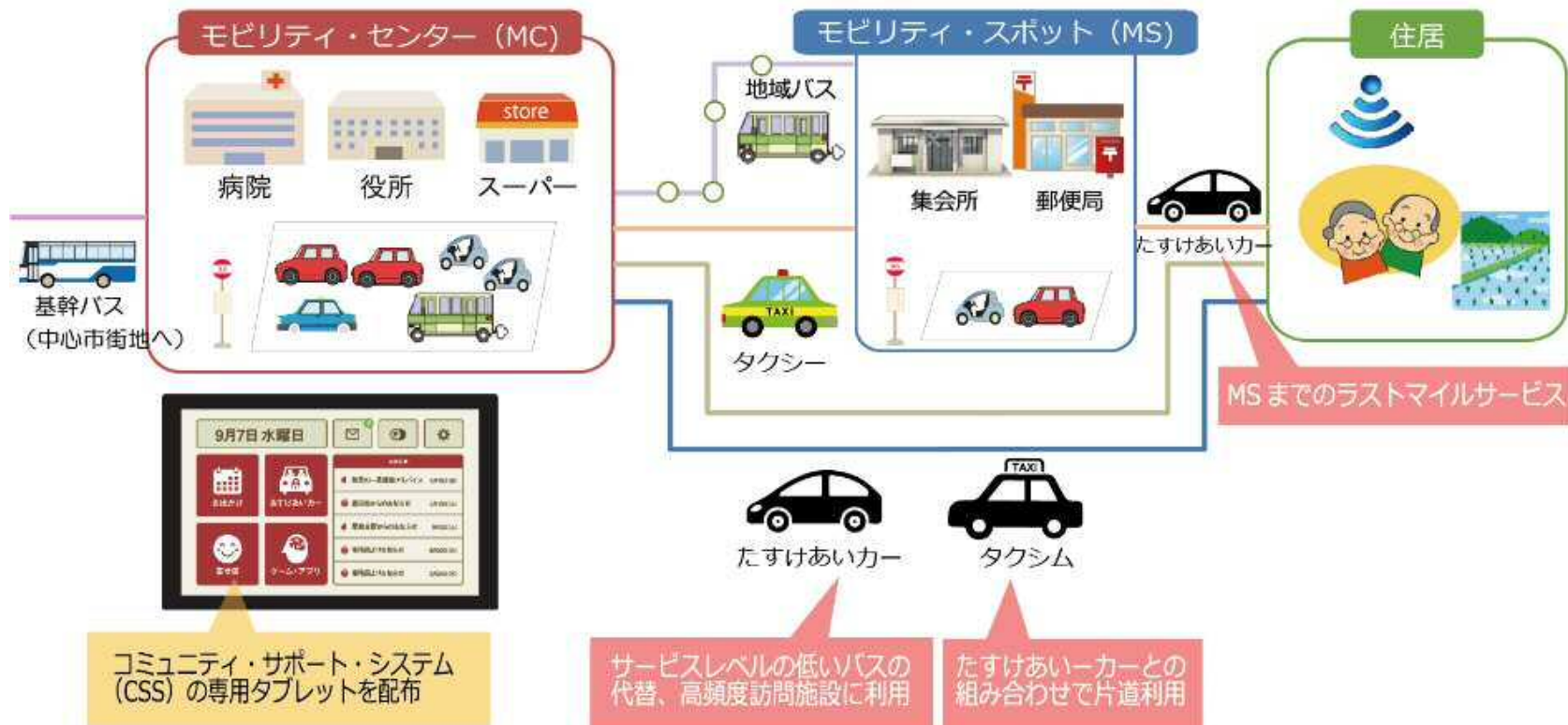


問題提起2) 住民相互の相乗りの推進

- 「たすけあいプロジェクト」
 - 名古屋大学COIによる、豊田市中山間地域における高齢者向けモビリティ支援、外出コト作り、独居見守りなどのパッケージ施策
 - モビリティ支援では、「たすけあいカー」(住民同士の相乗り、ボランティア輸送)がメイン
 - 足助病院元院長の早川先生の尽力で、(株)三河の山里コミュニティパワー(MYパワー)が運営を引き継ぎ、足助・旭地区で社会実装
 - MYパワーにより自立運営ができたことは大変良かったが、名大と足助病院が頑張りすぎて、地元住民の「自分事意識」がやや欠如

中山間地域版”Mobility Blend[®]”

地域の既存交通手段にCASE型モビリティをブレンドすることにより、低コストで、サービスを向上させながら、Disruptive（破壊的）でない地域交通システムのInnovation（革新）を実現



足助・旭地区での反省を踏まえた稲武地区での展開

移動に関する課題解決を住民自らが解決の方法を見つける

コオペラティブ交通マネジメント

従来の計画方法

<交通システム>



③計画・実施

<自治体>



<技術者>



②技術提供

①調査



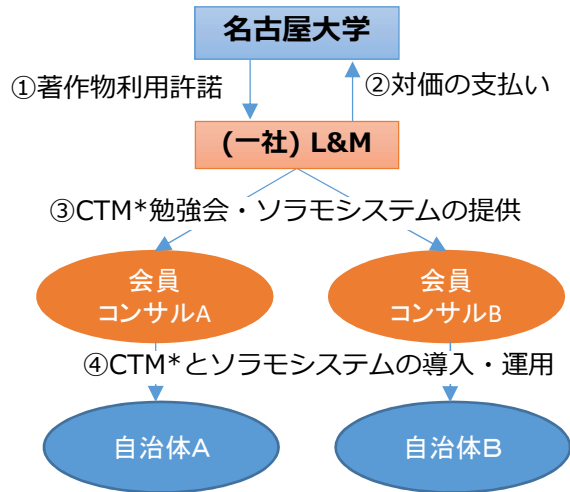
<地域住民自治体>



更なる横展開のための法人設立とシステム開発

ソラモ(Social Life & Mobility)システム

一般社団法人ライフ アンドモビリティ (L&M)



* コオペラティブ交通マネジメント

0.UI・プラットフォーム

1.最適移動方法検索・予約・運行システム

2.たすけあいカー

3.路線バス検索システム

4.デマンドバス予約・運行システム

5.タクシー乗合・運用システム

6.シェアリング運用システム

7.新規追加希望の交通サービス

8.幸せ度入力・お知らせシステム

9.緊急時連絡システム

10.見守りセンサーデータ解析システム

11.買い物サポートシステム

12.新規追加希望のその他サービス

高齢者に優しいUI



交通系サービス

